

9 成人・高齢保健

いきいきとした高齢期を過ごすためには壮年期からの健康管理が大切です。特に死亡率の6割以上を占めている、がん・心臓病・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病対策が重要です。鶴岡市では、健康増進法に基づく各種健康診査や健康相談をはじめ市民の健康づくりのための事業を実施しています。また、地域包括支援センター等の関係機関と連携しながら、高齢者の健康寿命の延伸のための事業を推進します。

(1) 健康診査事業

(令和7年度予算額 180,361千円)

がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、年1回必要な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と老後の健康の保持に役立たせようとするものです。

○健診種類

- ・胃・大腸がん集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・呼吸器（肺がん・結核）集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・子宮がん個別検診……………市内3医療機関で実施
- ・乳がん個別検診……………市内6医療機関で実施

(うち、乳房エックス線検査は4医療機関で実施します。)

- ・がん検診（人間ドック 胃・大腸・呼吸器・子宮・乳がん）市内4医療機関で実施
- ・骨粗しょう症検診……………市内4医療機関で実施
- ・肝炎ウイルス検査……………指定の日時・会場で実施
- ・歯周疾患個別検診……………県内委託医療機関で実施
- ・特定健康診査（基本健康診査に準ずる健診）

- 集 団……………各地区公民館、コミセン等で実施
- 個 別……………市内39医療機関で実施
- 人間ドック……………市内4医療機関で実施

○検査費用（税込）

(単位：円)

検 診 項 目		7 年 度	検 診 項 目		7 年 度
胃がん検診	集団	5,500	骨粗しょう症検診	人間ドック	3,178
大腸がん検診	集団	1,921	肝炎ウイルス検査	集団	3,300
子宮がん検診	集団	4,620	歯周疾患検診	集団・個別	5,320
	個別	6,992		男	14,065
乳がん検診	集団	1方向	がん検診 (人間ドック)	女(子宮)	17,661
		2方向		女(子宮、乳(1方向))	21,215
	個別	1方向		女(子宮、乳(2方向))	22,315
		2方向		特定健康診査	集団
肺がん検診	集団	読影	(空腹時血糖実施)	個別・人間ドック	10,340
		喀痰検査			
	人間ドック	喀痰検査		2,963	

※特定健康診査は基本項目、詳細項目すべてを実施した場合の委託料となります。

※がん人間ドック検診は該当する検診すべてを実施した場合の委託料となります。

○自己負担金

(単位:円)

検診項目		7年度	検診項目		7年度	
胃がん検診	69歳以下	1,100	骨粗しょう症検診	集団・人間ドック	500	
	70歳以上	200	肝炎ウイルス検査	41歳以上 69歳以下	300	
大腸がん検診	69歳以下	500		40歳・70歳以上	無料	
	70歳以上	100	歯周疾患検診	20・30・40・50・60歳	1,500	
子宮がん検診	69歳以下	1,200		70歳	無料	
	70歳以上	400	がん検診 (人間ドック)	男	6,300	
乳がん検診	69歳以下	1,200		女(子宮)	7,520	
	70歳以上	400		女(子宮、乳)	8,740	
呼吸器検診 (肺がん・結核)	読影	64歳以下	特定健康診査	64歳以下	1,500	
		65歳以上		無料	65歳以上(集団・個別)	300
	喀痰	64歳以下		600	65歳以上(人間ドック)	1,500
		65歳以上		200		

※生活保護世帯は、申請により全額免除されます。(人間ドックを除く)

※市町村民税非課税世帯は、申請により一部免除されます。(人間ドックを除く)

※特定健康診査の自己負担金は、加入する医療保険者によって異なります。

① 健康診査(基本健康診査に準ずる健診)

- ・健診の内容：問診、身体計測(身長・体重・腹囲)、身体診察、血圧測定、
検尿(糖・蛋白)、糖尿病検査(空腹時血糖またはヘモグロビンA1c)、
脂質検査(LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪)、
肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査
- ・健診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		2年度			3年度			4年度			5年度			6年度		
		生活保護	その他	計												
受診者数 (人)	集団	98	1	99	117	0	117	114	0	114	115	0	115	110	3	113
	個別	12	0	12	8	0	8	13	0	13	14	0	14	13	0	13
	人間ドック	6	0	6	5	0	5	5	0	5	5	0	5	7	0	7
	計	116	1	117	130	0	130	132	0	132	134	0	134	130	3	133
階層区分 (人)	積極	9	0	9	17	0	17	17	0	17	15	0	15	8	0	8
	動機づけ	17	0	17	13	0	13	15	0	15	7	0	7	11	0	11
	計	26	0	26	30	0	30	32	0	32	22	0	22	19	0	19

② 胃がん検診

- ・ 検診の内容：問診、胃部エックス線検査、胃内視鏡検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者数（人）		47,867	45,668	44,976	43,972	43,309
受診者数 （人）	集 団	3,040	3,153	3,084	3,005	2,890
	人間ドック	10,108	10,398	10,204	9,999	9,570
	計	13,148	13,551	13,288	13,004	12,460
受診率（％）		27.5	29.7	29.5	29.6	28.8
要精検者数（人）		4,097	4,442	4,336	4,323	4,107
要精検率（％）		31.2	32.8	32.6	33.2	33.0
精検受診者数（人）		4,013	4,332	4,230	4,236	4,018
精検受診率（％）		97.9	97.5	97.6	98.0	97.8
がんであった人（人）		40	48	43	53	18

※精密検査の状況は、令和6年度については令和7年5月現在の数値。令和5年度以前については翌年度末までに報告のあったもの。

③ 大腸がん検診

- ・ 検診の内容：問診、便潜血検査（2日法）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者数（人）		50,773	48,632	47,879	46,877	46,274
受診者数 （人）	集 団	6,030	6,303	6,239	6,293	6,333
	人間ドック	11,799	12,108	11,938	11,747	11,310
	計	17,829	18,411	18,177	18,040	17,643
受診率（％）		35.1	37.9	38.0	38.5	38.1
要精検者数（人）		1,336	1,240	1,131	1,128	1,265
要精検率（％）		7.5	6.7	6.2	6.3	7.2
精検受診者数（人）		1,061	978	892	913	867
精検受診率（％）		79.4	78.9	78.9	80.9	68.5
がんであった人（人）		40	45	43	43	30

※精密検査の状況は、令和6年度については令和7年5月現在の数値。令和5年度以前については翌年度末までに報告のあったもの。

④ 子宮がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、頸部細胞診
- ・ 検診対象者：20歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者数（人）		39,069	37,493	36,829	35,912	35,213
受診者数 （人）	集 団	166	173	120	158	148
	個 別	3,956	4,041	4,115	4,039	3,881
	人間ドック	4,465	4,531	4,396	4,244	3,991
	計	8,587	8,745	8,631	8,441	8,020
2年連続受診者数（人）		6,045	5,948	6,039	5,969	5,842
受診率（％）		30.4	30.4	30.8	30.9	30.2
要精検者数（人）		105	75	95	92	80
要精検率（％）		1.2	0.9	1.1	1.1	1.0
精検受診者数（人）		95	69	91	83	65
精検受診率（％）		90.5	92.0	95.8	90.2	81.3
がんであった人（人）		3	3	0	1	0

※受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷当該年度の対象者数×100（国、県の算出方法）

※精密検査の状況は、令和6年度については令和7年5月現在の数値。令和5年度以前については翌年度末までに報告のあったもの。

⑤ 乳がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、乳房エックス線（マンモグラフィ）検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の偶数年齢の市民で、他で受診する機会のない方

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者数（人）		39,815	39,033	38,823	37,583	37,698
受診者数 （人）	集 団	166	162	146	128	128
	個 別	1,180	1,266	1,265	1,241	1,218
	人間ドック	2,672	2,517	2,629	2,400	2,491
	計	4,018	3,945	4,040	3,769	3,837
2年連続受診者数（人）		0	0	0	0	0
受診率（％）		20.9	20.4	20.6	20.8	20.2
要精検者数（人）		239	218	243	182	185
要精検率（％）		5.9	5.5	6.0	4.8	4.8
精検受診者数（人）		225	210	232	172	152
精検受診率（％）		94.1	96.3	95.5	94.5	82.2
がんであった人（人）		6	9	11	11	13

※受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷当該年度の対象者数×100（国、県の算出方法）

※精密検査の状況は、令和6年度については令和7年5月現在の数値。令和5年度以前については翌年度末までに報告のあったもの。

⑥ 呼吸器検診（結核・肺がん検診）

- ・ 検診の内容：問診、胸部エックス線検査、かく痰細胞診（ハイリスク希望者）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者数（人）		51,431	49,287	48,511	47,563	46,918
受診者数 （人）	集 団	7,011	7,328	7,258	7,363	7,337
	人間ドック	11,757	12,069	11,895	11,732	11,298
	計	18,768	19,397	19,153	19,095	18,635
	かく痰検査	332	355	313	289	257
受診率（％）		36.5	39.4	39.5	40.1	39.7
肺がん に対する精査	要精検者数（人）	390	382	469	409	382
	要精検率（％）	2.1	2.0	2.4	2.1	2.0
	精検受診者数（人）	340	333	415	357	325
	精検受診率（％）	87.2	87.2	88.5	87.3	85.1
肺がん以外 の疾患に に対する精査	要精検者数（人）	184	197	185	205	251
	要精検率（％）	1.0	1.0	1.0	1.1	1.3
	精検受診者数（人）	133	143	143	152	170
	精検受診率（％）	72.3	72.6	77.3	74.1	67.7
がんであった人（人）		10	10	17	11	15
結核であった人（人）		1	0	0	0	0

※精密検査の状況は、令和6年度については令和7年5月現在の数値。令和5年度以前については翌年度末までに報告のあったもの。

※がんであった人には、喀痰検査及び結核要精検でがんであった（）内の人数を含む。

⑦ 骨粗しょう症検診

- ・ 検診の内容：問診、骨塩定量検査
- ・ 検診対象者：40・45・50・55・60・65・70歳の女性の市民で、他で受診する機会のない方

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
受診者数 （人）	集 団	81	91	48	50	28
	人間ドック	680	671	653	515	562
	計	761	762	701	565	590
要指導者数（人）		131	132	140	100	115
要精検者数（人）		196	186	164	113	153
要精検率（％）		25.8	24.4	23.4	20.0	25.9

⑧ 肝炎ウイルス検査

- ・ 検診の内容：問診、C型肝炎ウイルス検査、HBs抗原検査
- ・ 検診対象者：当該年度において40歳となる方又は41歳以上となる方で、過去に当該検診に相当する検診を受けたことがなく、本検診の受診を希望する方

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
受診者数 (人)	40歳総合健診	123	142	71	73	49
	集団健診	254	280	265	293	225
	計	377	422	336	366	274
C型肝炎感染疑い(人)		0	1	0	0	0
B型肝炎陽性(人)		0	2	0	4	2

⑨ 歯周疾患検診

- ・ 検診の内容：問診、歯周組織検査
- ・ 検診対象者：20・30・40・50・60・70歳の市民で、他で受診する機会のない方

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者数(人)		6,824	6,791	6,780	6,374	8,084
受診者数 (人)	集団	113	131	65	63	41
	個別	188	176	193	240	322
	計	301	307	258	303	363
受診率(%)		4.4	4.5	3.8	4.8	4.5
要精検者数(人)		179	194	179	195	230
要精検率(%)		59.5	63.2	69.4	64.4	63.4

⑩ 人間ドック

- ・ 健診の内容：特定健診、がん検診(胃・大腸・肺・子宮・乳)、その他検査
- ・ 健診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1日 受診者数 (人)	男	5,509	5,570	5,522	5,461	5,323
	女	6,199	6,319	6,255	6,128	5,909
	計	11,708	11,889	11,777	11,589	11,232
1泊 受診者数 (人)	男	193	310	251	259	219
	女	51	79	78	77	60
	計	244	389	329	336	279
合計		11,952	12,278	12,106	11,925	11,511

⑪ 健康診査受診意向調査

市等で実施する各種健康診査の対象者がいる全世帯に対し、種別ごとにどのように受診するのかを把握する調査で、12月に実施しています。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象世帯数	45,881	45,497	45,825	45,843	46,111
提出世帯数	14,987	13,512	13,153	12,561	12,043
提出率 (%)	32.7	29.7	28.7	27.4	26.1

※提出世帯数は各年度1月31日現在数値。

※登録制としたため、提出人数は掲載しない。なお提出は、人間ドック希望者及び登録情報に変更がある場合のみ。

(2) 成年期の健康診査事業

(令和7年度予算額 3,596千円)

生活習慣の変化により、若年層からの健康管理が重要であることから、40歳未満で他に健診機会のない方を対象に、自分や家族の健康管理の第一歩として健康の自己管理能力を育む支援を行うものです。

① さわやか健診

- ・健診回数：一般 レディース健診（女）6回、メンズ健診（男）3回
未受診者健診 6回
- ・検査項目：健康診査（特定健診と同じ項目：眼底検査を除く）
- ・健診時に全員に保健指導を実施
- ・レディース健診では一時保育を実施（R6 一時保育利用12人）

	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		
	レディース	メンズ	レディース	メンズ	レディース	メンズ	レディース	メンズ	レディース	メンズ	
受診者数（人）	337	216	333	184	321	190	290	182	287	183	
判定区分 （人）	要指導	135	65	123	60	130	70	116	57	114	53
	要医療(要精検)	82	113	97	91	105	86	91	87	86	89
	治療中	12	5	11	5	13	9	10	8	6	10
要指導・要医療(要精検)率(%)	64.4	82.4	66.1	82.1	73.2	82.1	71.4	79.1	69.7	77.6	

(3) 後期高齢者医療保険健康診査事業

(令和7年度予算額 90,653千円)

山形県後期高齢者医療広域連合からの受託事業で、被保険者に係る糖尿病等の生活習慣病の早期発見、医療費適正化を図るために健康診査を実施するものです。

- ・健診の内容：問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、身体診察、血圧測定、
検尿（糖・蛋白）、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビンA1c）、
脂質検査（LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、
肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)）、
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査

- ・健診対象者：鶴岡市に住所を有する被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち各年度4月1日時点で加入している方）
（実績：令和6年度は翌年4月受付分まで、令和5年度以前は実績値）

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者数（人）		22,086	21,682	21,291	21,704	23,000
受診者数 （人）	集団	2,176	2,337	2,431	2,568	2,633
	個別	2,810	2,155	2,230	2,195	1,885
	ドック	2,605	2,867	3,128	3,131	3,192
	計	7,591	7,359	7,789	7,894	7,710
受診率（%）		34.37	33.94	36.58	36.37	33.52

（4）特定健康診査・特定保健指導事業（令和7年度予算額 143,373千円）

鶴岡市国民健康保険が被保険者の適切な健康管理を図るために、生活習慣病の予防に着目した健康診査及び健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に保健指導を実施するものです。

- ・健診の内容：問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、身体診察、血圧測定、
検尿（糖・蛋白）、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビンA1c）、
脂質検査（LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、
肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)）、
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査
- ・健診対象者：年度中に40歳以上となる被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち一年間通して加入している方）

（実績：令和6年度は翌年4月受付分まで、令和5年度以前は法定報告値）

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者数（人）		19,901	19,419	18,471	17,806	16,962
受診者数 （人）	集団	2,832	2,949	2,912	3,191	3,104
	個別	179	121	134	140	107
	ドック	6,659	6,760	6,450	6,255	5,838
	計	9,670	9,830	9,496	9,586	9,049
受診率（%）		48.6	50.6	51.4	53.8	53.3
特定保健 指導対象 者数(人) *詳細	積極的	259	260	243	250	228
	動機づけ	742	731	682	677	631
	計	1,001	991	925	927	859

*特定保健指導詳細

- ・指導状況：①荘内病院人間ドックは市直営実施。
②特定健診委託機関のうち3機関（健康管理センター・協立病院・みやはらクリニック）にて実施。
- ・実施内容：180ポイントの個別支援のプログラムにて実施（初回面接、継続支援〈個別面接・電話支援・支援レター・LINEによる支援〉、3ヵ月後評価）

・実施状況

	積極的支援			動機付け支援			合計		
	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率
6年度	228	49	21.5%	631	230	36.5%	859	279	32.5%
現在実施中の者		13	5.7%		65	10.3%		78	9.1%
5年度	250	70	28.0%	677	315	46.5%	927	385	41.5%
4年度	243	62	25.5%	682	307	45.0%	925	369	39.9%
3年度	260	57	21.9%	731	348	47.6%	991	405	40.9%
2年度	259	50	19.3%	742	345	46.5%	1,001	395	39.5%

令和6年度の実施状況は令和7年4月受付分までの数値

※令和2年度～5年度の実施状況は法定報告値（毎年度10月に確定）

(5) 健康教育・健康相談事業

(令和7年度予算額 3,807千円)

① 健康教育事業

健康教育は、生活習慣病の予防などの健康に関する正しい知識を広めることによって「自らの健康は自らがつくる」という認識と自覚を高め、「健康の自己管理能力」を育成することによって壮年期からの健康づくりを促進するものです。

- ・内 容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に実施するほか、全市的な事業として医師・保健師・栄養士・健康運動指導士などを講師に健康講座の開催や健康づくりについての研修を行うものです。
- ・対象者：40歳以上の市民及びその家族

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
歯周疾患	活動回数(回)	3	8	9	10	23
	人数(人)	33	166	207	226	367
ロコモティブ シンドローム *1	活動回数(回)	70	69	89	63	75
	人数(人)	1,229	1,357	1,166	1,019	1,765
病態別*2	活動回数(回)	33	14	54	203	106
	人数(人)	1,002	347	1,337	2,967	2,529
葉	活動回数(回)	3	0	0	0	5
	人数(人)	122	0	0	0	98
一般	活動回数(回)	251	166	330	251	297
	人数(人)	5,190	2,445	5,135	4,624	5,363

*1 運動器症候群

*2 認知症、がん含む

② 健康相談事業

健康相談は、心身の健康についての個別の相談に応じた必要な指導や助言を行い、家庭における健康管理に役立てていただくものです。

- ・ 内 容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に、保健師が中心となって生活習慣病の予防などについての健康相談や医師、栄養士、歯科医師などの協力を得て、糖尿病予防、食生活改善、歯周疾患予防、寝たきり予防などの健康相談を行うものです。
- ・ 対象者：40歳以上の市民及びその家族

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
重点健康 相談	活動回数(回)	553	308	725	331	229
	人 数(人)	938	386	1,016	402	317
総合健康 相談	活動回数(回)	796	440	326	553	638
	人 数(人)	12,280	6,506	8,702	8724	5,483
計	活動回数(回)	1,349	748	1,051	884	867
	人 数(人)	13,218	6,892	9,718	9,126	5,800

③ ヘルスアップ事業

ヘルスアップ事業は、生活習慣病の一次予防として、個別健康支援プログラムの実施を行い、市民の健康増進、医療費の伸びの抑制を図るとともに、健康づくり推進の担い手である健康づくりサポーターの組織育成・活動支援を行なうものです。

(1) ヘルスアップセミナー

肥満等の生活習慣病の危険因子を有する方に対し、個人の健康度や体力に基づいた個別支援や疾病・食生活等の講義、運動指導を実施し、生活習慣改善と健康づくりサポーターとしての育成を図ります。

- ・ 対 象：69歳以下で下記の条件に1つ以上該当する方
 - ① BMIが24.0～31未満の方
 - ② 腹囲が基準値以上（男性85cm・女性90cm以上）の方
- ・ 実施内容：体重の減少を目的とした運動・食事指導を概ね2週1回(合計8回)12週間行う個別健康支援プログラム（2コース：夜コース・午前コース）

(令和6年度実績)

	夜コース	午前コース
開催場所	総合保健福祉センターにこ♥ふる	
開催期間	6月5日～8月22日	9月3日～12月5日
受講人数	13人	16人
修了人数	13人(100%)	15人(93.8%)

(2) スーパー健康づくりサポーター組織育成・活動支援

- ① 情報誌の企画・作成（年1回発行）
- ② 健康づくりサポーターのつどいの企画・運営

④ 若年期への保健指導

若年期からの健康づくりを推進し、市民の生活習慣病予防および健康管理に対する意識の高揚を図ることを目的に実施するものです。

○さわやか健診時保健指導

- ・対象：さわやか健診を受診した者
- ・内容：スマートイート（かしこい食べ方）の紹介、個人相談

○3か月後保健指導及び糖尿病・腎機能低下精密検査受診勧奨（令和6年度実績）

- ・対象：さわやか健診を受診した男性肥満者（腹囲85cm以上またはBMI25以上の者）71人、糖尿病・腎機能低下精密検査対象者7人
- ・内容：男性肥満者へ支援レターを送付。糖尿病・腎機能低下精密検査対象者へ電話や通知による受診勧奨を実施。

(6) 糖尿病予防対策事業（令和7年度予算額7,740千円（国保7,740千円））

増え続ける糖尿病の予防対策の一環として、「糖尿病精密検査回報書」を活用した精密検査の受診勧奨を行うと共に、未受診者に対して訪問指導やハイリスク者に対しセミナーを実施し、糖尿病の発症や重症化の防止を図ります。

① 糖尿病予防対策事業（回報書の活用）

特定健診で要精検となった方の結果を把握し、ハイリスクの方に対して生活習慣の改善を図り、糖尿病の発症や重症化を予防します。

- ・対象者：40～74歳の国保加入者（途中加入、生保者を含む）で、特定健診を受診した方（一泊ドックを除く）
- ・精検対象者：空腹時血糖110mg/dl以上又はヘモグロビンA1c（NGSP値）6.0%以上

※定期受診や治療中を除く。

（血糖検査・精密検査受診状況）

年次推移	対象年齢	血糖検査受診者数	精検対象者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)
2年度	40～69歳	5,994	727	12.1	589	81.0
3年度	40～69歳	6,024	820	13.6	550	67.1
	70～74歳	4,241	721	17.0	456	63.2
4年度	40～69歳	5,493	726	13.2	510	70.2
	70～74歳	4,188	743	17.7	505	68.0
5年度	40～69歳	5,694	645	11.3	460	71.3
	70～74歳	4,326	685	15.8	536	78.2
6年度	40～69歳	5,375	590	11.0	343	58.1
	70～74歳	4,135	587	14.2	380	64.7

※令和6年度精検結果：令和7年5月末現在の糖尿病精密検査回報書の返信があったもの。

令和2年～令和5年度については、翌年度末までに返信のあったもの。

※令和3年度より、対象年齢を40～74歳へと拡大。

(精密検査受診結果内容)

5年度	正常	境界型	糖尿病型	記載なし	回報書の返信なし	胃切型 高血糖	計
人数(人)	229	326	210	9	216	6	996
割合(%)	23.0	32.7	21.1	0.9	21.7	0.6	100

※精検結果は、翌年度末までに回報書が返信されたものでまとめるため、令和5年度分を掲載。

② 糖尿病重症化予防訪問指導事業

受診翌月に対象者把握ができる特定健診データ管理システムを利用し、精密検査未受診者に対し受診勧奨を目的に訪問指導を実施し、糖尿病の発症や重症化を予防します。

○訪問指導対象者：特定健診データ管理システムにおいて、当該月に国保連に特定健診受診の報告があった者のうち、下記に該当し精密検査回報書が発行されたもので、受診3か月後に回報書の返信がないもの

- ・年齢：40歳～74歳
- ・検査結果：空腹時血糖 110mg/dl 以上あるいはヘモグロビン A1c (NGSP 値) 6.0% 以上
(定期受診を含む、治療中を除く)

	対象 年齢		回報書 発行者	3か月後 回報書 返信あり	訪問指導 対象者	受診勧奨結果		受診勧奨 (延数)		
						受診	未受診	訪問 面接	電話	通知 等
2年度	40～69 歳	人数	727	277	450	257	193	27	290	184
		率(%)	100.0	38.1	61.9	57.1	42.9			
3年度	40～69 歳	人数	820	321	499	227	272	94	95	148
		率(%)	100.0	39.1	60.9	45.5	54.5			
	70～74 歳	人数	721	274	447	178	269	75	3	36
		率(%)	100.0	38.0	62.0	39.8	60.2			
4年度	40～69 歳	人数	726	289	437	200	237	37	133	218
		率(%)	100	39.8	60.2	45.8	54.2			
	70～74 歳	人数	743	431	312	156	156	55	9	73
		率(%)	100	58.0	42.0	50.0	50.0			
5年度	40～69 歳	人数	645	255	390	208	182	43	78	133
		率(%)	100	39.5	60.5	53.3	46.7			
	70～74 歳	人数	685	369	316	157	159	34	47	84
		率(%)	100	53.9	46.1	49.7	50.3			
6年度	40～69 歳	人数	590	138	452	107	345	43	41	75
		率(%)	100	23.4	76.6	23.7	76.3			
	70～74 歳	人数	587	233	354	102	252	49	1	27
		率(%)	100	39.7	60.3	28.8	71.2			

※受診勧奨結果は令和7年5月末現在において回報書の返信、また訪問指導事業で把握した数値。

※令和3年度より、対象年齢を40～74歳へと拡大。

※70～74歳については、受診勧奨判定値者へ優先的に勧奨を実施。

③ 糖尿病健康相談・糖尿病予防セミナー

高血糖者及び医療通院者に対し、個別健康相談並びに体験型セミナーにて、栄養・運動等の保健指導を実施することで生活習慣を改善し、自己管理能力を高め、糖尿病の発症および糖尿病腎症等の重症化を予防します。

- 対象者：・前年度の特定健診血糖検査結果で回報書が発行された 75 歳未満の者
 （精検結果異常なしは除く）
 ・医療通院者で、栄養・運動指導が必要な者、血糖コントロールが不十分な者

○内 容：

「糖尿病健康相談」（面談は、一人あたり概ね 2 回実施）

①管理栄養士による保健指導

摂取カロリーに応じた食事量の目安、食べ方など改善状況を確認しながら個々に応じて指導を行う。

②3 か月後支援レター（評価）を送付する。

「糖尿病予防セミナー」（全 3 回開催）

①糖尿病専門医による講義、栄養士による集団栄養指導・健診結果の講義、
 栄養士による栄養摂取状況成績表についての集団指導・グループワーク、
 運動講師による運動実技

②3 か月後支援レター（評価）を送付する。

- 開催場所：総合保健福祉センター にこ♥ふる
 （令和 6 年度実績）

糖尿病健康相談	受講者数（人）		2 回参加率（%）
	実人数	延人数	
令和 2 年度	18	33	83.3
令和 3 年度	43	75	87.2
令和 4 年度	29	56	81.0
令和 5 年度	31	63	86.7
令和 6 年度	15	27	85.7

糖尿病予防セミナー	受講者数（人）		2 回参加率（%）
	実人数	延人数	
令和 5 年度	22	41	86.4
令和 6 年度	13	22	75.0

(7) 訪問指導事業

(令和7年度予算額 2,502千円)

介護予防の観点から支援の必要な方、及び健康診査の結果で指導が必要と認められた方や家族に対して、保健師や看護師が訪問して保健指導を行い、心身の機能低下防止と健康の保持増進を図るものです。

(単位：人)

		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
		訪問 実人数	訪問 延人数								
要 指 導 者	40～64歳	18	19	67	70	41	42	67	85	74	78
	65歳以上	24	26	90	99	195	227	310	378	231	242
	計	42	45	157	169	236	269	377	463	305	320
閉 じ こ も り 予 防	40～64歳	2	2	2	2	2	2	0	0	1	1
	65歳以上	5	5	0	0	0	0	2	2	9	9
	計	7	7	2	2	2	2	2	2	10	10
介 護 家 族 者	40～64歳	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	65歳以上	11	14	4	4	0	0	0	0	5	5
	計	12	15	4	4	0	0	0	0	6	6
寝 た き り 者	40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	65歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
認 知 症 高 齢 者	40～64歳	0	0	0	0	4	4	2	2	0	0
	65歳以上	7	13	6	12	10	10	6	7	21	23
	計	7	13	6	12	14	14	8	9	21	23
そ の 他	40～64歳	20	29	27	31	9	11	29	35	10	12
	65歳以上	29	34	31	36	16	18	45	50	30	35
	計	49	63	58	67	25	29	74	85	40	47
口腔衛生指導(再掲)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	40～64歳	41	51	96	103	56	59	98	122	86	92
	65歳以上	76	92	131	151	221	255	363	437	297	315
合 計		117	143	227	254	277	314	461	559	383	407

(8) がん検診受診率向上対策事業

(令和7年度予算額 6,564千円)

死亡原因第1位のがんから市民を守るため、特に40～50歳代の働き盛りの受診環境の整備を図り、早期発見・早期治療に有効ながん検診の受診率向上を図るものです。

○受診環境の整備

① 40歳総合健診

健診元年にあたる、40歳を迎える市民を対象に総合的な健康診査を行うことで、健康管理の大切さの自覚を高め、働き盛りの年代の早世を予防するものです。就労時間を考慮し早朝に実施します。

- ・健診項目：特定健康診査、各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査
- ・総合健診受診者（令和6年度実績）

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者 (人)		1,304	1,383	1,369	1,285	1,217
受診者 (人)		123	143	71	73	53
受診率 (%)		9.4	10.3	5.2	5.7	4.4
肺がん検診	受診者数 (人)	118	137	70	72	53
	要精検者 (人)	0	1	1	1	1
	要精検 (%)	0	0.7	1.4	1.4	1.9
胃がん検診	受診者数 (人)	98	130	66	65	46
	要精検者 (人)	4	2	1	1	0
	要精検 (%)	4.1	1.5	1.5	1.5	0
大腸がん検診	受診者数 (人)	120	130	69	71	49
	要精検者 (人)	4	5	2	3	1
	要精検 (%)	3.3	3.8	2.9	4.2	2.0
子宮がん検診	受診者数 (人)	71	83	44	38	22
	要精検者 (人)	1	1	0	1	0
	要精検 (%)	1.4	1.2	0	2.6	0
乳がん検診	受診者数 (人)	74	88	47	49	25
	要精検者 (人)	5	6	3	7	1
	要精検 (%)	6.8	6.8	6.4	14.3	4.0
骨粗鬆症 検診	受診者数 (人)	81	91	48	50	28
	要精検者 (人)	0	0	0	0	0
	要精検 (%)	0	0	0	0	0
歯周疾患 検診	受診者数 (人)	113	131	65	63	41
	要精検者 (人)	65	77	37	38	18
	要精検 (%)	57.5	58.8	56.9	60.3	43.9
肝炎 ウイルス検査 (40歳のみ)	受診者数 (人)	123	142	71	73	49
	要精検者 (人)	0	0	0	1	0
	要精検 (%)	0	0	0	1.4	0

② 日曜日がん検診

平日、仕事等で都合がつかず、がん検診を受診できない、主に働き盛りの年代に焦点をあて、日曜日にがん検診を実施するものです。

・各種がん検診

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
肺がん検診	受診者数 (人)	152	147	153	155	165
	要精検者 (人)	1	4	5	2	5
	要精検 (%)	0.7	2.7	3.3	1.3	3.0
胃がん検診	受診者数 (人)	183	182	175	180	177
	要精検者 (人)	6	6	5	5	6
	要精検 (%)	3.3	3.3	2.9	2.8	3.4
大腸がん検診	受診者数 (人)	199	200	204	210	211
	要精検者 (人)	9	6	11	8	10
	要精検 (%)	4.5	3.0	5.4	3.8	4.7
子宮がん検診	受診者数 (人)	95	90	76	120	126
	要精検者 (人)	1	1	0	0	0
	要精検 (%)	1.1	1.1	0	0	0
乳がん検診	受診者数 (人)	77	86	81	62	90
	要精検者 (人)	6	7	6	1	5
	要精検 (%)	7.8	8.1	7.4	1.6	5.6

③ 障害者通所施設健診

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の検診とは別に障害者に配慮した健診体制を整備し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
肺がん検診	受診者数 (人)	250	246	245	228	226
	要精検者 (人)	15	8	8	9	11
	要精検 (%)	6.0	3.3	3.3	3.9	4.9
大腸がん検診	受診者数 (人)	100	107	106	95	94
	要精検者 (人)	11	9	7	9	6
	要精検 (%)	11.0	8.4	6.6	9.5	6.4
乳がん検診	受診者数 (人)	15	6	18	17	13
	要精検者 (人)	0	1	1	2	0
	要精検 (%)	0	16.7	5.6	11.8	0

④ 土曜日検診

全国健康保険協会（協会けんぽ）等の被扶養者を対象に、特定健診未受診者健診の場
を利用し、併せて市のがん検診を実施するものです。

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
肺がん検診	受診者数（人）	95	134	164	150	152
	要精検者（人）	2	6	7	1	4
	要精検（%）	2.1	4.5	4.3	0.7	2.6
胃がん検診	受診者数（人）	0	0	0	0	0
	要精検者（人）	0	0	0	0	0
	要精検（%）	0	0	0	0	0
大腸がん検診	受診者数（人）	81	112	141	138	139
	要精検者（人）	3	10	10	4	7
	要精検（%）	3.7	8.9	7.1	2.9	5.0
子宮がん検診	受診者数（人）	0	0	0	0	0
	要精検者（人）	0	0	0	0	0
	要精検（%）	0	0	0	0	0
乳がん検診	受診者数（人）	0	0	0	0	0
	要精検者（人）	0	0	0	0	0
	要精検（%）	0	0	0	0	0

○啓発事業

① がん検診受診向上対策キャンペーン

広く市民への受診啓発を図り、地域全体のがん検診受診向上をより一層推進するものです。

＜庄内南部・庄内北部定住自立圏（鶴岡市・酒田市・庄内町・三川町・遊佐町）及び庄内保健所
主催「いきいき健康フェア 2024」、山形県主催「がん総合相談出張相談」との合同開催＞

日 時：令和6年10月12日（土）

場 所：イオンモール三川

内 容：受診啓発グッズの配布、がん検診に関するクイズ、ポスター・パネル展示
体組成計・血糖値等測定

参加者数：521人

＜市単独実施＞

日 時：令和6年10月1日（火）～10月31日（木）

場 所：鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♥ふる」

内 容：健康づくり強調月間事業に併せて実施

- ① トイレで呼びかけ！がん検診
- ② 大腸がんクイズラリーとがん検診受診勧奨
- ③ にこ♥ふる館内ポスター等展示

(9) がん患者医療用ウィッグ・乳房補整具購入費助成事業

(令和7年度予算額 1,350千円)

がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の維持向上のため、がんの治療に伴う外見の悩みや経済的負担を軽減する観点から、医療用ウィッグ・乳房補整具購入費の助成を行うものです。

助成金の額 医療用ウィッグ：2万円又は購入経費の2分の1の額のいずれか低い額
乳房補整具：1万円又は購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

※令和2年度より乳房補整具購入助成事業実施

助成件数	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
医療用ウィッグ(件)	54	52	50	65	48
乳房補整具(件)	3	1	5	9	4

(10) 重粒子線がん治療患者支援事業

(令和7年度予算額 628千円)

山形大学医学部東日本重粒子センターで受けた重粒子線治療のうち、公的医療保険の対象とならない、先進医療として認められた重粒子線がん治療に係る経済的負担を軽減するため、治療費の助成を行うものです。

助成金の額：上限628,000円(照射治療費から先進特約保険の給付金等を差し引いた額を対象とします。)

	3年度	4年度	5年度	6年度
助成件数	0	0	0	0

※これまで実績なし

(11) 障害者に対する施策

① 障害者通所施設健診

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の健診とは別に健診日を設定し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

・検査項目：健康診査(39歳以下は眼底検査を除く)

がん検診(肺がん・大腸がん・乳がん)

※がん検診については、「がん検診受診率向上事業」に掲載

受診者(人)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
39歳以下(さわやか健診)		163	162	181	178	179
40歳以上	生活保護受給者等	51	53	48	46	48
	国民健康保険加入者	166	157	165	154	155
	後期高齢者医療保険加入者	31	37	39	35	34
	*他の医療保険加入者	23	29	22	17	22
合計		434	438	455	430	438

※健康診査費については、各事業費より支出(*は除く)

(12) 中学生胃がん予防事業

(令和7年度予算額 1,917千円)

胃がん発生の95%以上の原因とされるヘリコバクターピロリ（ピロリ菌）感染者を早期に発見し、胃の萎縮が進む前の感染後間もない中学生の時期に除菌治療を行うことで子ども達の将来の胃がん発生を予防し、胃がんの撲滅を目指します。

一次検査：学校定期健康診断の検査尿を活用したピロリ抗体検査

二次検査：一次検査陽性者の医療機関受診による尿素呼気試験

除菌治療：二次検査陽性者の内薬治療

成功確認検査：尿素呼気試験による除菌治療の成功、不成功の確認

対象者：中学2年生

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象者	(人) A	1,113	1,042	1,014	995	978
同意者	(人) B	939	938	843	812	705
同意率	(%) C=B/A	84.4	90.0	83.1	81.6	72.1
一次検査受診者	(人) D	938	936	841	812	703
一次検査陽性者	(人) E	43	60	48	52	32
一次検査陽性率	(%) F=E/D	4.6	6.4	5.7	6.4	4.6
二次検査受診者	(人) G	41	53	44	43	26
二次検査陽性者	(人) H	24	29	25	15	12
二次検査陽性率	(%) I=H/G	58.5	54.7	56.8	34.9	46.2
一次検査受診者に対する 陽性率（真の陽性率）	(%) J=H/D	2.6	3.1	3.0	1.8	1.7
除菌治療実施者	(人) K	24	29	25	15	12
成功確認検査完了者	(人) L	24	28	23	14	12
除菌成功者	(人) M	23	27	23	13	12
除菌成功率	(%) N=M/L	95.8	96.4	100.0	92.9	100.0

※令和7年5月末現在

(13) 介護予防普及啓発事業 (令和7年度予算額 5,279千円〔介護5,279千円〕)

① 高齢期からの健康づくり事業

ロコモティブシンドローム・脳卒中・認知症予防を重点とし、地区組織と連携し前期高齢期からの健康づくりを支援します。

・実施状況

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
実施地区	18	19	21	22	22
実施回数	45	40	58	61	63
参加延人数	1,144	942	1,295	1,681	1,782

・対象：概ね65歳以上

・内容：ロコモ・フレイル・脳卒中・認知症・こころの健康づくり・運動・食生活
(減塩等)・生活習慣病予防講話、ロコモ度測定、試食、レクリエーションなど

② 認知症予防事業

高齢化の進展とともに、増加が予想される認知症について、正しい知識の普及と認知症予防を推進します。

《令和6年度実績》

○認知症予防講演会

実施地区	黄金地区	櫛引地域
日時	令和7年2月1日(土)	令和6年9月5日(木)
会場	黄金コミュニティセンター	櫛引生涯学習センター
参加人数	55人	52人
対象	地域在住の65歳以上の方	
内容	・講演 「認知症を正しく学び予防しよう」 講師 鶴岡市立荘内病院 神経内科部長 医師 丸谷 宏 氏	・講演と実技 「楽しくからだを動かして認知症予防」 講師 山形県立米沢栄養大学 教授 加藤守匡 氏

○認知症予防健康教育 (認知症予防講演会を含む)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
回数	34	22	40	86	62
参加延人数	778	547	736	1,647	1,249

③ 脳卒中予防事業

○脳卒中予防重点地区事業

脳卒中の発症予防を目的として、国保データベース(KDB)システムによる実態把握で、課題のある地区を重点地区としてセミナー等を実施します。

《令和6年度実績》

重点地区	内 容	回数	参加延人数
第五学区・小堅地区 羽黒地域	医師講演、保健師・栄養士講話、運動、健康展展示・試食など	14	270

○脳卒中予防健康教育（脳卒中予防重点地区事業を含む）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
回数	23	30	37	27	36
参加延人数	454	438	780	494	838

④ 8020運動よい歯の長寿賞表彰事業

鶴岡地区歯科医師会と共催で表彰事業を実施します。市民の歯科・口腔衛生に対する意識の向上を図ることを目的とします。

《表彰者》

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
男 性	69	58	71	47	78
女 性	87	105	92	84	89
合 計	156	163	163	131	167

最高齢者年齢	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	91歳	98歳	91歳	95歳	95歳

⑤ 高齢者への健康教育・健康相談

町内会、老人クラブ、地域でのお茶のみサロンや独居高齢者会食交流会等での健康学習活動を支援し、高齢期の健康意識の啓発と健康づくりを推進します（65歳からの健康づくり事業、65歳以上を対象とした認知症予防・脳卒中予防健康教育を含む）。

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
健康教育	回数	225	158	200	224	251
	参加延人数	4,162	2,724	3,758	4,177	4,706
健康相談	回数	30	51	38	73	64
	参加延人数	233	392	316	686	331

(14) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

(令和7年度予算額 505千円〔国保505千円〕)

山形県後期高齢者医療広域連合からの受託事業で、国保データベースシステム等の活用により地域の健康課題の分析や対象者の把握を行い、後期高齢者の生活習慣病等の重症化予防訪問指導（ハイリスクアプローチ）及び通いの場等へ関わり、フレイル予防等の健康教育・相談（ポピュレーションアプローチ）を実施するものです。（令和4年度開始事業）

① 重症化予防訪問指導（ハイリスクアプローチ）

《令和6年度実績》

◎対象者：50人

- ・糖尿病治療中断者：「抽出前年度（R5年度）から過去3年度に糖尿病薬剤処方歴あり」かつ「抽出年度（R5年度）に糖尿病薬処方歴なし」かつ「抽出年度（R5年度）に健診受診なし」
- ・腎機能不良未受診者：「抽出前年度（R5年度）の健診受診者でeGFRが45ml/min/1.73m²未満」または「尿蛋白＋以上」かつ「抽出年度（R5年度）に医療受診なし」
- ・血圧高値未受診者：抽出前年度（R5年度）の健診結果で、「収縮期血圧160mmHg以上」または「拡張期血圧100mmHg以上」かつ「抽出年度（R5年度）に高血圧薬処方なし」

◎介入者：49人（訪問実49人・延77人）

② フレイル予防等の健康教育・相談（ポピュレーションアプローチ）

健康課実施の「65歳からの健康づくり事業」、地域包括ケア推進課実施の「いきいき百歳体操講座」を、本事業のポピュレーションアプローチとしています。

《令和6年度実績》※再掲

- ・65歳からの健康づくり事業：実施回数63回 参加延人数1,782人
- ・いきいき百歳体操講座：活動団体数159団体 参加実人数1,593人